

令和5年9月14日

副幹事長 白濱 美鈴

(須恵町立須恵第二小学校)

令和5年度 全国公立学校教頭会研究大会(石川大会)【報告】

- 1 研究主題 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」 <キーワード> 自立・協働・創造
<サブテーマ> ふるさとに誇りをもち未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指すこれからの学校運営の推進
- 2 期 日 令和5年8月3日(木)・4日(金)
- 3 会 場 ホテル金沢・ANAクラウンプラザホテル・金沢東急ホテル・KKRホテル金沢 他
- 4 内 容

【第1日目 8月3日(木)】

- (1) 開会行事
(2) シンポジウム

テーマ「ふるさとに誇りをもち未来を切り拓く心豊かな人づくりを目指す これからの学校運営の推進」

コーディネーター 田村 学 氏 (國學院大學 人間開発学部初等教育学科 教授)

シンポジスト 長谷川明子 氏 (加賀屋グループ 女将)

住田 昌治 氏 (学校法人湘南学園 学園長)

島谷 千春 氏 (加賀市教育委員会 教育長)

【長谷川 氏】

加賀屋グループ女将が大切にしている「失敗をチャンスに!~笑顔で気働き~」人を育てる10ヶ条①笑顔で相手のいいところを誉めてあげる ②注意するときは言い方に気を付ける ③相手との気持ちを通じ合わせる ④時には外部の研修や講演会などに出してあげて、気分転換させる。⑤不器用な人、要領よくできない人ほど、より可愛がって大事にしてあげる。⑥自己啓発の機会を体験させてあげる。⑦一言多い子や段取り優先な子を注意する。⑧知識を教える。⑨相性が合わない場合には配置転換。⑩責任は女将である私にあるということ。

新入社員への指導として「失敗することがあなたを強くする」「挫折は成長」「報連相を大切にすること」を伝え、何かあったら女将がすぐ謝りに行ったり、クレームには即対応したりすることで、新入社員が失敗を恐れず、萎縮することなく働くことができるように人材育成を行っている。

【住田 氏】

「学校らしい学校を壊す」という信念の元、一人一人が大事にされ、自分らしさやよさを発揮できる学校、誰一人取り残されることなく、子供も大人も生き生きと学び、働くことができる学校づくりを実行している。教師の在り方として、「ティーチャー」から、つなぐ・整理する「ファシリテーター」へ、さらに今後は子供と教師がパートナーとなり、一緒に面白い「ジェネレーター」へと変化していく必要性がある。

人材育成の視点として、①相手は自分と違う人と認識する ②人は「育てる」のではなく「育つ」存在であること ③教える側も学び続ける姿勢を忘れないことが重要である。

また、働き方改革の目的は、労働時間を減らすことではなく、大事なことに時間をかけることである。教職員の働き方は、①教職員のHAPPYが子供の笑顔になる ②自分たちの働き方は自分たちで決める ③脱・後回しの習慣 を大切にしていける必要がある。

【島谷 氏】

「BE THE PLAYER(プレーヤーであれ!)」子供たちがお客様状態から脱却することが重要である。一斉授業でみんなが一緒に同じことを同じ時に行うのでは、多様な子供に対応することができないため、一人一台パソコンをフル活用し、自分のペースで、自分で学ぶことを大切にする。意味を一方的に「押しつける」のではなく、子供自ら「意味づけ」して、「内在化」すると「したい、しよう」に変わっていく、この教師としての本丸である授業改善の必要がある。

また、学校におけるリーダーは、答えは先生方が持っているため、内在している「動機」を引き出す役割である。職員が自分なりに理解し、咀嚼して自分のもの(=自分事)となったら理想的である。リーダーは「情報や仕事を配る人」ではなく「意味と希望を伝える人」だ。マイクロマネジメントをせず、職場の雰囲気として心理的安全性を大切に、「聞き合う・対話・相互理解」で活性化していく必要がある。

(3) 記念講演

講師 長谷川 祐子 氏 (金沢21世紀美術館 館長)

演題 「豊かな感性を育む場所をつくる」

豊かな感性をはぐくむ場をどうやってつくるかをテーマに、開かれた美術館として、「子供たちが創造性を得ることができる場所」「多様なものが見られる場所」「新しい技法を学べる場所」として、絶えず人が来るような、違う誰かと違う体験ができるような場となるように工夫を行っている。

美術館・アートは、「未来支度」の場、多様な表現が出会う場、新たなエコロジーの創造の場、様々な協働の可能性の場を担う役割がある。

子供たちの豊かな感性を育むために、中学生対象「まるびいアートスクール」や高校生対象の美術展、未就学児とその保護者を対象にした「まるびい・すくすくステーション」等を開催し、若い親や子供が来る美術館として未来へつないでいる。

【第2日目 8月4日(金)】

分科会

1A・1B 教育課程に関する課題

2 子供の発達に関する課題

3 教育環境整備に関する課題

4 組織・運営に関する課題

5A・5B 教職員の専門性に関する課題

6 副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題

特Ⅰ 時宜に応じた課題

「ICT活用を踏まえた、新しい時代の学び(個別最適な学びと協働的な学び)の推進に向けた管理職の役割」

特Ⅱ 開催地の創意を生かした課題

「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」に向けた副校長・教頭の役割